



想いをつなぐ
持続可能な未来へ

つながりを力に、未来へ進む「紀文まつり」

有田市が一年で最も輝く季節がやってきました。

今年の夏は、農家の皆さんにとって過酷な試練の連続でした。8月は渇水で雨を待ち望み、9月は一転して大雨に。「もう天候に左右されるのは十分だ」と苦笑いするほどの夏を越え、みかん山は今、収穫の時を迎えます。

だからこそ、その努力と思いが結実するこの季節に、本市最大の祭典「紀文まつり」を今月24日・25日に開催します。

紀文まつりは、江戸へみかんを運んだ伝説の豪商・紀伊国屋文左衛門をしのび、「市民総参加の祭り」として始まりました。いつしか夏の花火大会として定着していましたが、「有田市が最も輝く季節に、市民の皆さん、そして日本各地から訪れる方々と、最高の時間を分かち合いたい」との思いから、今年は原点に立ち返り、秋の開催といたしました。

この2日間、箕島駅前から市役所周辺には、みかんをはじめとする有田の魅力ある産品が並びます。先人の息吹や地域の魅力に触れる「世界農業遺産ツアー」、子どもたちによるみかんの歴史と未来をつむぐミュージカル「ときじくのかぐのこのみ」の上演、フィナーレを飾る圧巻のドローンショーと夜空を彩る花火など、有田の魅

力が街中にあふれます。

また、紀文まつりの真価は、催しの充実だけではありません。市民の皆さんが集い、顔を合わせ、同じ時間をともに過ごすことにこそ、大きな意味があります。人混みが苦手な方や、外出をためらう方も、ほんの少しでも気持ちを前に向け、あの賑わいの中へ足を運んでみてください。ひとりでぶらりと、少し顔を出すだけでも十分です。

有田の「うまいもん」をほおばり、有田の歴史に触れ、夜空を見上げ、そして、隣にいる人と笑顔を交わす。世代を超えて多くの人が集う熱気は、まちを元気にし、未来へ進む力になります。

そうして生まれる一つひとつの出会いが積み重なれば、私たちの力は足し算ではなく「掛け算」となり、何倍にも大きく膨らみます。

紀文まつりの先には、市民の皆さんが固い絆で結ばれ、ともに未来へ向かって進む有田市の姿があります。

この秋一番の輝きが詰まったこの祭りに、ぜひ足を運び、最高の笑顔の花を咲かせましょう。

有田市長 玉木 久登

11/1 日
**コミュニティセンター、
体育館がオープン!**

宮原地区体育館

宮原認定こども園

宮原
コミュニティ
センター

生涯学習課 TEL 22-3761

MifroM オープニングイベント 開催!
入場無料

11/7 土 10:00~16:00

オープンを記念して、MifroMの各施設でイベントを行います!
内覧もできますので、ぜひご来場ください。

10:15 こどもフェスタ
11:45 @宮原認定こども園

11:30 MifroMステージショー
出演予定: 吹奏楽団、キッズダンス、
13:15 鼓笛隊、こども獅子舞 など
@イベント広場

12:00 ニュースポーツ体験会
16:00 @宮原地区体育館

キッチンカーや屋台で、飲食物の販売やワークショップが行われます! お楽しみに!

広告 市収入の一部とするため有料広告を掲載しています。

より良い広報づくりのため、皆様のご意見ご要望を経営企画課へお寄せください。